

発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 村井 靖児

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337



第13回学術大会を終えて

大会長 岩永 誠

2013年の夏は早く梅雨があけたと思ったら酷暑が続き、数十年に一度という集中豪雨、竜巻に台風と続き、異常気象という言葉がこれほど実感を持って感じられる夏はありませんでした。本学術大会の開催される週の月曜日には台風が発生し、中国地方は刺激された秋雨前線による大雨でJRもストップするという、大会の開催自体が危ぶまれる状況でした。幸いなことに天候は回復し、2013年9月6日の講習会を皮切りに、7日、8日に第13回日本音楽療法学会学術大会を開催することができました。会場となった米子コンベンションセンター BiG SHIP と米子市文化ホールは、米子駅に隣接する便利な場所でしたが、米子市そのものへのアクセスが大変で、学会員の皆様にはご不便をおかけしたのではないかと考えております。

東日本大震災からすでに2年半が過ぎましたが、未だに問題は山積みの状態です。被災された方々は家族や住まいを失った悲しみが癒えることもなく、遅々として進まぬ復興に無力感さえ抱いているのではないのでしょうか。家族や地域との失われた「つながり」に、音楽療法はどのような支援をすることができたのでしょうか。このことは被災地だけの問題ではありません。誰もが大切な人との死別・離別、離郷、退職等と、それまでの「つながり」を失う可能性を持っているのです。こうした問題を背景として、本学術大会の大会テーマを「音楽療法の役割を再考する～個のつながりや地域とのつながりを通して～」としました。喪失からの回復を促すためには、「つながる」という視点から、音楽療法の果たす役割を再考する必要があるのです。今回の議論をきっかけとして、新しい「つながり」が展開されていくことを願ってやみません。

本学術大会への参加者数は、学術大会参加登録者が約1,400名、県民講座の一般参加者を含めて、3日間でのべ5,000名もの方に参加していただきました。大会初日の県民講座である日野原理事長の基調講演「人と地域につながる音楽のアートとしての技(わざ)」と岡野貞一記念コンサートは、2,000名収容のホールに立ち見ができるほどの盛況ぶりです。主催者としてうれしい悲鳴をあげてしまいました。引き続いて行われた記念講演や特別講演も興味深い話でしたので、学会員の皆様も参考になる点が多かったのではないかと思います。

今回の学術大会では、新たな試みとして研究発表Ⅱと情報

交換スペースを設けました。研究発表Ⅱは、時間枠を20分から40分に拡大し、座長からのコメントや質疑を充実させました。また、情報交換スペースでは、施設や実践の場の紹介を通して音楽療法士同士のつながりができるようにしました。学びを深めることやつながりを構築することに役立ちましたでしょうか。

交流会には約400名の参加があり、会場に入りきれないほどでした。大会実行委員が酒飲みだということで居酒屋さんにケータリングをお願いしたため、これまでとはひと味違う料理やお酒を楽しんでいただけたかと思います。スペシャルイベントとして企画した安来節はいかがでしたか。初めて生のどじょうすくいをご覧になられた方もおられたのではないのでしょうか。参加者同士の交流も進んだのではないかと思います。皆様と楽しい時間を過ごすことができ、大会スタッフも喜んでおります。

本学術大会を大過なく終えることができましたのは、約2年にわたり入念に準備を重ねてきた大会執行部委員、大会開催に協力いただいた中国支部の実行委員の皆様、会員・非会員のボランティアの皆様、長きにわたり大会開催を支えていただいた学会本部事務局長および事務局員の方々、開催に支援いただいた地元の方々にご協力いただいたおかげだと思っております。紙面を借りまして、すべての関係者に心よりお礼を申し上げます。

至らぬ点も多く、大会に参加していただいた会員の皆様方には、色々な面で不自由をおかけしたのではないかと思います。この場を借りましてお詫び申し上げます。第14回大会は、名古屋で開催されます。本学術大会での「つながり」をさらに広げて、大きな輪となる大会になることを願っております。また、こうしたつながりをもとに、音楽療法学会がさらに発展していきますことをお祈りし、第13回学術大会の報告を終わりたいと思います。ありがとうございました。



(オープニングセレモニー 奥出雲神代神楽)

第14回日本音楽療法学会学術大会に向けて —第一次案内—

大会長 栗林 文雄

第14回日本音楽療法学会学術大会は、2014年9月19日(金)から21日(日)まで愛知県名古屋市の名古屋国際会議場で開催されます。今大会のメインテーマは「臨床現場における人と音楽とのエンゲージメントを考える～個を生かし個を結びつける音楽療法～」と決まりました。第13回学術大会(米子大会)でも「つながり」がテーマになっていました。今大会のキーワードは「エンゲージメント」という言葉を用い、音楽と人の「つながり、かかわり」について音楽療法臨床における国際色のある議論を展開したいと考えています。

海外から二人のゲストスピーカーを迎えます。その一人はアリシア・アン・クレア博士です。クレア博士はアメリカ合衆国カンザス州にあるカンザス大学においてかの有名なガストン博士の薫陶を受けられた先生であり、特に高齢者領域の臨床実践と研究分野において非常に際立った実績をお持ちの先生です。「高齢者の軽音楽の好み」についての1970年代の研究はそれまでの音楽療法活動の内容を一変させるような影響力の強いものでした。1980年代初期に、すでに当時の全米音楽療法協会(NAMT)の会長を経験されています。アメリカの音楽療法界を代表する人物の一人として知られているクレア博士は、大学教授として人材育成にも多くの業績を残されています。アメリカのみならず、日本からの留学生たちも数多く彼女の指導を受けています。この大会でも彼女の教え子たちが大活躍することになるでしょう。

もう一人の海外からのゲストはアメリカ・オールドフィールド博士です。彼女は過去32年にわたり音楽療法士として英国ケンブリッジ地域で活動をしている、学習障害や発達障害をもつ児童が専門の先生です。1994年にアングリヤ・ラスキン大学に音楽療法コース(修士)を設立し、以来この大学で音楽療法士養成に係ってきました。研究活動にも勢力的に係わり、1986年には最重度の学習障害をもつ成人にあたえる音楽療法の効果について発表し大学から表彰されています。2000年の研究では二年間にわたり幼稚園児と母親の関係性について音楽療法の立場から調査しました。2004年には自閉症児と母親についての研究をおこないアングリヤ・ラスキン大学より博士号を取得されています。

この二人の先生方をお迎えし、音楽療法活動の中核から発せられる貴重な体験を通しての情報をみなさんと共有したい考えです。臨床の実力と研究者としての資質をもつ二人のお話は、皆さんの知性と精神に深い影響をあたえるものと確信しています。

大会初日の講習会では、高齢者・緩和、精神、児童の領域での講義があり、加えてワークショップも開催される予定です。この中に海外からの二人の講師による活動も含めて計画していますので、申込は早めに行ってください。講義はまずそれぞれの領域における「研究活動」についての具体的な内容で開始されます。わかりやすい説明がありますので、研究・統計アレルギーの皆さんにもぜひ参加していただきたいと考えています。続いて各領域での臨床活動の豊富な先生方からの講義が続き、最後におなじみのベテランの先生がたからまとめの講義をいただく予定をしています。

今回の大会では講習会、特別講演、基調講演、大会長講演、大会シンポジウムの流れのなかで、キーワードである「エンゲージメント」という言葉をくり返し聞くことになるはずですが、普通は「婚約」を意味する英語ですが、臨床場面で使用される時には「かかわり、ふれあい」という意味になります。あらゆる音楽現象は音楽をはさんで両側に人が並び、それぞれがふれあい、そしてかかわることが原点です。音楽療法場面においても同様で、クライアント(たち)と音楽、音楽とセラピストというかわりの構造が見えてきます。さらにセラピストはその行動、声、視線、場面設定などの要素をとおしてクライアントとの良好なかかわりを築くための、援助の努力を続けることが要求されます。これも「エンゲージメント」の一つの形態です。

さて、名古屋は近代的な大都市であると同時に「尾張名古屋は城でもつ」と唄われるように、歴史的にも長い伝統を誇る街です。大会会場からは名古屋城や熱田神宮、栄の繁華街がすぐ近くです。刀剣類の好きな私は徳川美術館が好みです。学びの前後にはぜひ名古屋の名物をお楽しみください。皆様の参加を心よりお待ちしております。

■ 日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会

委員長 高山 仁

当委員会では、音楽療法士の質の向上を目指して毎年1回の講習会を開催してきました。これまでは、対象者理解、目標設定、事例研究、対象者を取り巻く福祉現場などについて考え、さらに2010年度からはスーパービジョンの体系化を視野に入れて自分自身と向き合い見つめ直す作業を行ってきました。臨床家として「何を行うか」から「どう在るべきか」へ、また「何を行うか」は「何を根拠として行うか」へと、音楽療法士の専門性について様々な角度から検証し、臨床の質的向上を図ってきました。

そこで本年度からの3年間は、さらに音楽療法士の専門性を高めるために「音楽療法の理論と実践をつなぐ専門性」をテーマとして掲げました。初年度は「知識と情報」と「理論と実践」を軸に、まず知識や情報を豊かにし、それらを立体的に組み立て、根拠となる理論を背景として実践に応用する力に反映させたいと考えています。

「知識と情報」を軸とする1日目は、「ガンに対する音楽療法研究のレビュー」、「音楽療法学生とプロの非言語的行動の比較」など、海外における最新音楽療法研究の情報を、翻訳に関わられた先生方より紹介していただきます。また、学会「更新規則検討委員会」より、来春刊行予定の『スーパービジョンのためのマニュアル』について研修を行います。

「理論と実践」を軸とする2日目の午前は、「こころ」という曖昧なものを専門家として生涯発達心理学の視点から再考します。老年期については星薫氏に、子どもの領域については作田亮一氏に講義していただきます。午後は、他職種の先生方が理論と実践を「どう繋げているのか」について、山根寛氏には脳・神経科学の立場から、石井孝弘氏には感覚統合の立場から講義していただきます。「ヒトの全ての運動は感覚刺激（入力）に応じて遂行されている」と言われていますが、多くの学びができることを確信しています。

また今回は新しい試みとして、初心者と中上級者を2会場に分け、すべての講義を初心者向けには「分かりやすく」、また中・上級者向けには「深める作業に備えて」として、講師の先生方をお願いしました。多くの会員の方々のご参加をお待ちしています。

2014年2月22日（土） テーマ：知識と情報

第1会場（初心者） 内容同一		第2会場（中・上級者） 内容同一	
13：00～14：00 (60分)	A：『スーパービジョンのためのマニュアル』 更新規則検討委員会 委員長：郡司 正樹	13：00～14：30 (90分)	B：海外の最新音楽療法研究の情報Ⅰ 「児童と高齢者の世代間交流」他 田原 ゆみ（横浜相原病院）
14：00～14：15	休憩	14：30～14：45	休憩
14：15～15：45 (90分)	C：海外の最新音楽療法研究の情報Ⅱ 「ガンに対する音楽療法研究のレビュー」他 久保田房枝（日本社会事業大学講師）	14：45～15：45 (60分)	A：『スーパービジョンのためのマニュアル』 更新規則検討委員会 委員長：郡司 正樹
15：45～16：00	休憩	15：45～16：00	休憩
16：00～17：30 (90分)	B：海外の最新音楽療法研究の情報Ⅰ 「児童と高齢者の世代間交流」他 田原 ゆみ（横浜相原病院）	16：00～17：30 (90分)	C：海外の最新音楽療法研究の情報Ⅱ 「ガンに対する音楽療法研究のレビュー」他 久保田房枝（日本社会事業大学講師）

2014年2月23日（日） テーマ：理論と実践

	第1会場（初心者）	第2会場（中・上級者）
09：15～10：45	A：老年期の「こころ」 星 薫（放送大学 准教授 認知発達心理学）	B：子どもの「こころ」 作田 亮一（獨協医科大学 越谷病院 子どものこころ診療センター長）
10：45～11：00	休憩	休憩
11：00～12：30	B：子どもの「こころ」 作田 亮一（獨協医科大学 越谷病院 子どものこころ診療センター長）	A：老年期の「こころ」 星 薫（放送大学 准教授 認知発達心理学）
12：30～13：30	昼食	昼食
13：30～15：00	C：感覚統合の理論と実践 石井 孝弘（帝京科学大学 医療科学部・作業療法学科）	D：神経科学とリハビリテーション 山根 寛（京都大学 医学部教授・作業療法士）
15：00～15：15	休憩	休憩
15：15～16：45	D：神経科学とリハビリテーション 山根 寛（京都大学 医学部教授・作業療法士）	C：感覚統合の理論と実践 石井 孝弘（帝京科学大学 医療科学部・作業療法学科）

*会場は、例年通り東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館です。なお、講師の都合により変更が生じることがありますことをご了承ください。

■ 2013年度資格審査（面接試験）について ■

資格認定委員会

●2013年度資格審査（面接試験）を申請できるのは次の方です。

1. 日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）資格（合格年度に関わらず）を有する方
2. 日本国外の音楽療法士の認定資格を有する方

●2013年度資格審査（面接試験）申請受付期間

2014年1月31日（金）～2月14日（金）まで事務局必着

●申請方法

認定規則「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」を取り寄せ、それに沿って申請する。

***認定規則（面接試験）取り寄せ方法**

500円の定額為替（郵便局で購入）を同封の上、「認定規則（面接試験）請求」として事務局へ申し込む（会員のみが配布対象）。

●書類審査結果

2月下旬通知 *書類審査合格者には面接試験の案内を同封します。

●面接試験日

*面接試験日時の変更は出来ませんのでご承知おきください。

2014年3月8日（土）、9日（日）

*希望日がある方は申請時に書面（書式自由）を同封して申し出てください。

●面接試験会場

東京（聖路加看護大学） *2013年度の面接会場は東京会場のみとなります。

●面接試験内容

口頭試問と実技（合わせて15分間） *実技に関する詳細は下記をご確認ください。

●試験結果

2014年3月末日通知

《2013年度資格審査（面接試験）における実技について》

1. 面接実技試験**弾き歌い**のための課題曲は、下記A群（テンポの速い曲群）、B群（ゆっくり目の曲群）の各5曲とする。

A群（テンポの速い曲群）

- | | |
|-------------|------------------|
| ①世界に一つだけの花 | 槇原敬之 詞・曲 |
| ②崖の上のポニョ | 近藤勝也・宮崎駿 詞、久石譲 曲 |
| ③月がとっても青いから | 清水みのる 詞、陸奥明 曲 |
| ④上を向いて歩こう | 永六輔 詞、中村八大 曲 |
| ⑤花 | 武島羽衣 詞、滝廉太郎 曲 |

B群（ゆっくり目の曲群）

- | | |
|-----------|----------------|
| ①早春賦 | 吉丸一昌 詞、中田章 曲 |
| ②川の流れるように | 秋元康 詞、見岳章 曲 |
| ③湯の町エレジー | 野村俊夫 詞、古賀政男 曲 |
| ④涙そうそう | 森山良子 詞、BEGIN 曲 |
| ⑤大きな古時計 | 保富康午 詞、ワーク 曲 |

2. 実施方法

上記A B各群から2曲ずつ選択し（計4曲）、資格審査（面接試験）申請書に明記する。

申請した曲の中から、当日指定された1曲の**弾き歌い**を行う。

*弾き歌いで楽譜を見ることは可とするが、それはコードネームが記載されている楽譜までとして、伴奏全部が記載されている楽譜の持ち込みは不可とする。

3. 使用楽器

会場に用意されるキーボードまたは、受験者が持参したギターに限定する。

*面接試験の課題曲は、来年度以降変更される予定です。

北海道支部 — 近況 —

支部長 安藤 妙子

今年度は、北海道支部の役員選挙がおこなわれ、支部長及び事務局も変わり新体制で運営することになりました。

2013年支部総会と第23回支部研修会を5月19日（日）に行い無事終了することが出来ましたことは、支部会員皆様のおかげと感謝いたしております。

8月末発行の北海道支部ニューズレターにも掲載致しておりますが、本年11月10日（日）札幌大谷大学において第24回支部研修会が下記の内容で開催されます。

日時：2013年11月10日（日）受付9：30 開始10：00～16：30

場所：札幌大谷大学4F響流（こーる）ホール

内容：一般演題

講演「認知症の理解と非薬物療法」池田望先生（札幌医科大学教授）

「即興演奏の始め方」小山準平先生（札幌大谷大学専任講師）

北海道支部で行う講習会の内容は、会員からの要望やいま何が必要か役員で検討しながら内容を決めています。他支部からの参加も歓迎致します。（詳細は支部ホームページをご覧ください）

問い合わせ先 事務局：〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1-1 札幌大谷大学関谷研究室

TEL：011-742-1796



東北支部 — 近況 —

支部長 須佐 凉子

全国の学会員の皆様には、東日本大震災に関しまして本年度も引き続きのご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

米子大会におきましては、災害対策特別委員会による自主シンポジウム「東日本大震災被災者への音楽による援助を考える 第3報」に多くの皆さまのご参加をいただきありがとうございました。お陰様で復興へ向け、一步一步の歩みではありますが、確実に前へ進んでおります。

今年度の支部大会は10月27日（日）岩手県盛岡市にて開催いたしました。「音楽療法におけるスーパービジョンとは～これからの東北の音楽療法に向けて～」を大会テーマに岩手会員を中心とした実行委員会にて準備が進められました。

近年、学会でも特に力を入れているスーパービジョンについての学びとして企画いたしました。講演にはお二人の講師をお迎えいたし、基調講演は岡崎香奈氏による、「音楽療法におけるスーパービジョンとは」、もう一方の講師には、いわてリハビリテーションセンター機能回復療法部長の諸橋勇氏による特別講演「対人援助職に必要なスーパービジョン概論」、引き続きの講習会では認定取得後5年以上の会員を対象とした、岡崎香奈氏による「スーパービジョンをする側のためのワークショップ」、取得5年未満等を対象とした諸橋勇氏による「対人援助職のスーパービジョンに関するワークショップ」と、実り多い学びの会となりました。

2016年度の全国大会は東北支部でお引き受けいたすことが決まり、只今実行委員会の立ち上げ準備に入っております。

関東支部 — 近況 —

事務局長 猪之良高明

1. 関東支部大会・講習会（栃木大会）開催について

第12回日本音楽療法学会関東支部 講習会・地方大会（栃木）が2014年1月25日（土）～1月26日（日）の2日にわたって、栃木県総合文化センターにおいて開催されます。「人の命・音の命・音楽の命」を大会テーマに様々な企画で皆様をお迎えしたいと思います。

詳細については、関東支部ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。また、関東支部会員のみならず他支部会員の参加も歓迎いたしますので、ぜひお越しください。

2. 都県別講習会のお知らせ

低料金または無料かつ身近な地域で受講できる研修として、関東支部主催都県別講習会を開催しております。支部以外の会員や一般の方も参加可能な研修もありますので、詳細は今後のニュースやホームページをご覧ください。

今後の研修予定

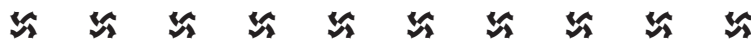
・群馬県（支部会員、一般学生のみ参加可能）

日程：2013年11月9日（土）13：00～17：00

会場：前橋市市民文化会館 講習内容：記録と評価について

3. 研究発表検討プロジェクトの発足

2012年度より研究発表の質を向上させることを目的として、研究発表検討プロジェクトを発足し、数回にわたるミーティングが開催されました。査読基準、発表後のフィードバック、認定となる発表の場などについて検討しております。今後、栃木大会でプロジェクト案を試行し検討を重ね、本部とも連携し、より質の高い発表を目指せるように進めてまいります。



信越・北陸支部 — 近況 —

事務局長 西巻 靖和

信越北陸支部では、平成25年6月22日（土）～23日（日）に第11回支部学術大会を（大会テーマ「いてくれてありがとう、あなたがいてくれて」～音と音楽で寄り添う対人援助～ 大会長 宮川深雪）福井県鯖江市響陽会館で開催し、一般参加者114名、学会会員等54名で168名の参加者がありました。

講師には京都大学医学部 人間健康科学科教授 山根 寛先生、福井大学大学院 教育学研究科教授 松木健一先生、ワークショップには九州労災病院 精神科医師で、ピアニストとしても活躍されている下村泰斗先生をお迎えしました。

山根先生は、今回は「ことばでふれる」と題して臨床でのことばがけを、「言葉の意味」を超えた「ことばの表情」の重要性や、また場面の中でどのように居るか、その居方とそこで交わされる言語としてではない「ことば」「声」について、お話しいただきました。

松木先生からは、教育、福祉の中での援助者としての専門性をどのように高めていくのか、相手と一緒に自分も変わる。自分が変わらなければ、相手は変わらないという「相互性」、相手の目線に立つ（相手になってみる）ことができなければ共感など得られないと、ともに育ちあう専門性をお話しいただきました。

二日目の午前の公開事例検討会も内容が充実したもので、コメンテーターの先生方からも意義深いお話をいただきました。午後の下村先生のワークショップでは精神科医としてミュージック・ケアの手法を用いて病院や企業でなさっている日々の実践のお話の後、参加者の皆さんにも実際体験していただき、会場が一体となり大変盛り上がりしました。次年度は石川県で開催予定です。

支部では「情報の共有」を目指し、支部内の役員及び認定研究会の連絡責任者等の間でメーリングリストの運用を始めているところで、支部内の研修会情報等のやりとりを行っております。広範囲に広がる支部だからこそ連携を意識した活動をしていきたいと考えております。

現在支部内で団体登録されている研究会は12団体あり活発な研究、研修活動が行われております。

東海支部 — 近況 —

支部長 佐治 順子

東海支部では、以下の5点をご報告いたします。

1. 第14回日本音楽療法学会学術大会を、来年2014年9月19日（金）～21日（日）に、名古屋国際会議場で開催します。現在東海支部の役員を中心とした実行委員会で肅々と準備を進めています。詳細については、前ページの第1次案内または支部HPをご覧ください。
2. 第13回東海支部大会と第4回東海支部研修会を、2014年3月2日（日）に、大垣女子短期大学（岐阜県大垣市）で開催します。詳細については、支部HPをご覧ください。
3. 支部ニュース第23号を、2013年8月に発行致しました。
4. 東海支部第7回役員選挙を2013年10月31日（必着締切）に実施して、12月中には、第7期東海支部役員（2014年4月～2016年3月）が内定します。
5. 東海支部第4巻研究紀要を、寄稿論文と投稿論文の内容で、2014年3月に発刊します。



近畿支部 — 近況 —

事務局長 池田 智子

近畿支部では2014年3月1日（土）・2日（日）に滋賀県大津市にある『びわ湖ホール』と『コラボしが21』にて、第12回近畿学術大会を開催いたします。これら2つの会場は、道路を隔てて向かい合っています。

滋賀県で近畿支部大会が開催されるのは、第12回にして初めてで、笠原吉孝大会長のもと、国内でも先駆的に社会福祉を發展させてきた滋賀県の独自性が出せるよう、大会実行委員会と支部講習会企画委員会により準備を進めております。他支部の方も歓迎いたしますので、どうぞご参加ください。

また、2002年より発行しています『近畿音楽療法学会誌』はVOL.12を12月に発行する予定です。原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の内容、近畿支部活動記録の他、第10回近畿学術大会で初めて実施されたラウンドテーブルの報告記事を掲載する予定です。ラウンドテーブルとは、一つのテーマについて興味を持つ人々が小さな会場でじっくり語り合うという企画です。購読をご希望の方は近畿支部事務局〈jmtak@guitar.ocn.ne.jp〉までお問い合わせください。



中国支部 — 近況 —

支部長 武田千代美

去る、9月6日より開催されました、第13回日本音楽療法学会学術大会には多くの皆様にご参加頂き、無事盛会の内に終えることができました。

参加者の皆様、ならびに開催にご協力を頂戴しました関係各位に深く感謝を申し上げます。

心配された台風も、早いうちに低気圧にかわり、交通機関への影響も少なく、実行委員一同、ホッと胸を撫でおろしての開会となりました。

大会テーマを「音楽療法の役割を再考する ～個のつながりや地域とのつながりを通して～」と掲げ、音楽を通じた人々のつながりについて考えることとしました。折しも、学会はちょうど、東日本大震災支援活動や、地域音楽療法プランについての活動を推進しているところであり、大会テーマとは「つながる」部分も多く、改めて「つながる」ということをあらゆる角度から考えてみる大会となったのではないかと考えます。

日野原重明理事長の「人と地域につながる音楽の^{わざ}アートとしての技」と題した基調講演には、県民講座として広く一般の方も来場され、立ち見の方も出るほどの盛況となりました。

特別講演、記念講演も充実した内容で、大変良かったとの感想を多くいただいております。

また、大会企画シンポジウムは、学会の「今」につながる話題を聴く事ができ、今後の展開も考えることとなりました。

会期中は、地元のグルメの屋台が出店し、交流会は地元産地直送の食材を使った、居酒屋メニューが大変に好評を得ました。ここにも地元とのつながりが感じられ、多くの方に喜んでいただけたのではないかと自負しております。

中国支部は、この経験をもとによりよい方向に目を向けて、今後の活動を進めて参りたいと存じます。ありがとうございました。

四国支部 — 近況 —

第9回四国支部学術大会
大会長 藤井 澄子

さる7月21日に、第9回四国支部学術大会を松山市の聖カタリナ大学キャンパス内にある聖カタリナホールで開催しました。当日は日野原重明理事長の特別講演とパイプオルガン演奏を一般の市民講座として公開し、約800人の参加がありました。特別講演の最後には、日野原先生の指揮による「ふるさと」を会場いっぱいの人々で合唱し、感動が広がりました。参加者からは「涙がぼろぼろとおちてきた」「お姿が目に焼きついた」「お元気をいただいた」など、音楽療法を広く市民にご理解いただけるひとときになったと思います。猛暑の中、日帰りという強行軍でしたが、日野原先生本当にありがとうございました。

来年は高知大会です。日程等詳細が決まりましたら本部ホームページ支部便りにてお知らせいたしますので、皆様のお越しを心よりお待ちしております。



九州・沖縄支部 — 近況 —

事務局長 西林 淑子

過日、会員の選挙により2013年度からの支部役員の改選が行われ、齊藤 雅（支部長）、池田憲治（広報担当）、小林真寿子（監事）、古賀幹敏（学会理事）、齋藤考由（研修・教育担当）、櫻井琴音（倫理担当）、西林淑子（事務局）、山下恵子（倫理担当）、和田玲子（監事）、米倉裕子の各氏が選出されました。

講習会も年間2回以上の開催で、九州各地（今年度は熊本）と福岡で全体向けと認定者対象として行っています。

また最近是新認定制度受講者からの相談も寄せられることから、今後も会員のニーズに合致する講習会を企画していく予定です。

※発行日の関係で文中各支部近況の催事が終了しているものがありますのでご了承ください。

学会事務局からのお知らせ

■ 2013年度（補）資格審査（筆記試験）を申請される方へ

2014年1月19日（日）に実施されます2013年度音楽療法士（補）資格審査（筆記試験）の申請受付期間は、2013年11月15日（金）～11月29日（金）まで（必着）となります。なお、試験の実施会場は東京会場（日本教育会館）1ヵ所のみとなります。

※（補）試験に関する詳細は、学会ニュース25号11ページをご確認ください。

■ 2013年度資格審査（面接試験）を申請される方へ

2013年度資格審査（面接試験）申請期間、申請方法等につきましては、4ページをご覧ください。

■ 2013年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2013年10月31日までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2014年2月初旬に通知されます。

■ 「音楽療法士認定規則（新版）」の取り寄せについて

「新認定制度」の制定に伴い、2010年9月1日に「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（新版）」が発行されましたが、今般一部見直しが行われ、改訂版が発行されています。今後はこの改訂版に沿って認定制度が運用されます。購入を希望される方は、500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則（新版）請求」として事務局へお申し込みください。（会員限定配布です）なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

※上記認定規則に沿って資格取得を目指す方のための講習会は、2014年9月から開始となります。

※既に音楽療法士（補）資格を取得された方は、この認定規則は不要です。

■ 「資格更新規則（申請書）」の取り寄せについて

500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「更新規則請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

※資格更新の該当の方には当該年度の5月上旬までに、更新規則を事務局から送付しますので取り寄せは不要ですが、早くご入用の方は上記方法でお取り寄せください。

■ 「カリキュラムガイドライン11」の取り寄せについて

会員の方は「カリキュラムガイドライン11請求」として事務局へお申し込みください。会員外の方は、120円切手を貼付した返信用封筒（B5サイズ、宛名明記）を同封の上お申し込みください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

15分間の音楽療法の啓発DVDが発売されています。購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「DVD「音楽のちから2012」請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

■ 「音楽療法士（補）試験問題解説集」のご購入について

2001年度から2012年度まで過去12回おこなわれました音楽療法士（補）認定試験の試験問題解説集が、年度別と合冊版で発行されています。購入を希望される方は以下に沿ってお申し込みください。

【取り寄せ方法】

希望の試験問題解説集の年度と冊数（合冊版を希望の場合はその旨）を明記の上で、冊数分の合計金額の郵便為替（郵便局にて購入）を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

認定音楽療法士（補）試験問題解説集	金額（送料込）
2001年度～2012年度 単年度版（希望年度を明記してお申し込みください）	各1冊 1,000円
2001年度～2005年度、2006年度～2010年度 5ヵ年分合冊版	各1冊 2,000円

■ 学会誌バックナンバー、学術大会要旨集のご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバー、および学術大会要旨集（抄録）のバックナンバー購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社

TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 第13回日本音楽療法学会学術大会 講習会資料集のご購入について

2013年9月に米子でおこなわれました、第13回日本音楽療法学会学術大会の講習会資料集の購入を希望される方は、1,500円分の郵便為替（郵便局にて購入）を同封の上「第13回日本音楽療法学会学術大会 講習会資料集請求」として学会事務局までお申し込みください。

■ 会費（年会費）納入のお願い

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2012年度分未納の方はそのまま放置されますと2014年3月末にて会費未納退会となります。この場合再入会はできません。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円
購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口
払込先 郵便振替口座 ○加入者名：日本音楽療法学会
○口座番号：00120-9-657711

■ 事務局への各種お届けについて

● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合も事務局へ届け出てください。（学生証のコピー添付）

※学生会員の場合は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません、ご注意ください。

※認定をお持ちの方、新認定制度をご受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

● 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更があった会員の方は、事務局まで文書にて変更を届け出てください。書式は自由です。名義変更時も同様をお願いします。

※認定をお持ちの方はローマ字氏名も合わせて明記してください。

※その他事務局への各種お届け方法の詳細については日本音楽療法学会ホームページをご覧ください。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

- 音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書など

手数料：500円

- 音楽療法士登録証明書、賞状

手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含まれます。

※3×4cmの顔写真と、現在お持ちの登録証明書および賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書のみ変更の場合も、登録証明書・賞状ともに変更の場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、依頼される際にお名前のローマ字氏名を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。

これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ 「団体総合補償保険」のご案内

音楽療法士の業務保険を同封のパンフレットのとおりにご案内します。加入を希望される方はパンフレット綴じこみの「保険申込 FAX 連絡票」にて記載の期日までに事務局まで加入依頼書を請求してください。

この保険は日本音楽療法学会会員専用として特別に設定したものです。加入者が少ないと廃止となりますので奮ってご加入いただきますようお願いいたします。

なおこの保険についてのお問い合わせは TEL：044-200-9421のセントラル保険までお願いします。

■ お詫びと訂正

つぎの誤りがありましたので、謹んで訂正をさせていただきます。

- *学会ニュース25号の15ページ、信越・北陸支部情報における第11回信越・北陸支部学術大会事務局の TEL & FAX 番号

誤 0766-53-9454 正 0776-53-9454

- *第13回日本音楽療法学会学術大会講習会資料集の表紙、記念講演「藤井浩基」先生の所属先

誤 鳥取大学 正 島根大学